１２．大腸がん患者に対する腹腔鏡下手術の実施率

算式

【分子】　分母対象例のうち、当該入院期間中に「K719-3腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術」を施行した患者数

【分母】　測定期間内の退院患者のうち「大腸がん」を主病名として入院し、「K7193結腸切除術　全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術」又は「K719-3腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術」を施行した退院患者数

定義

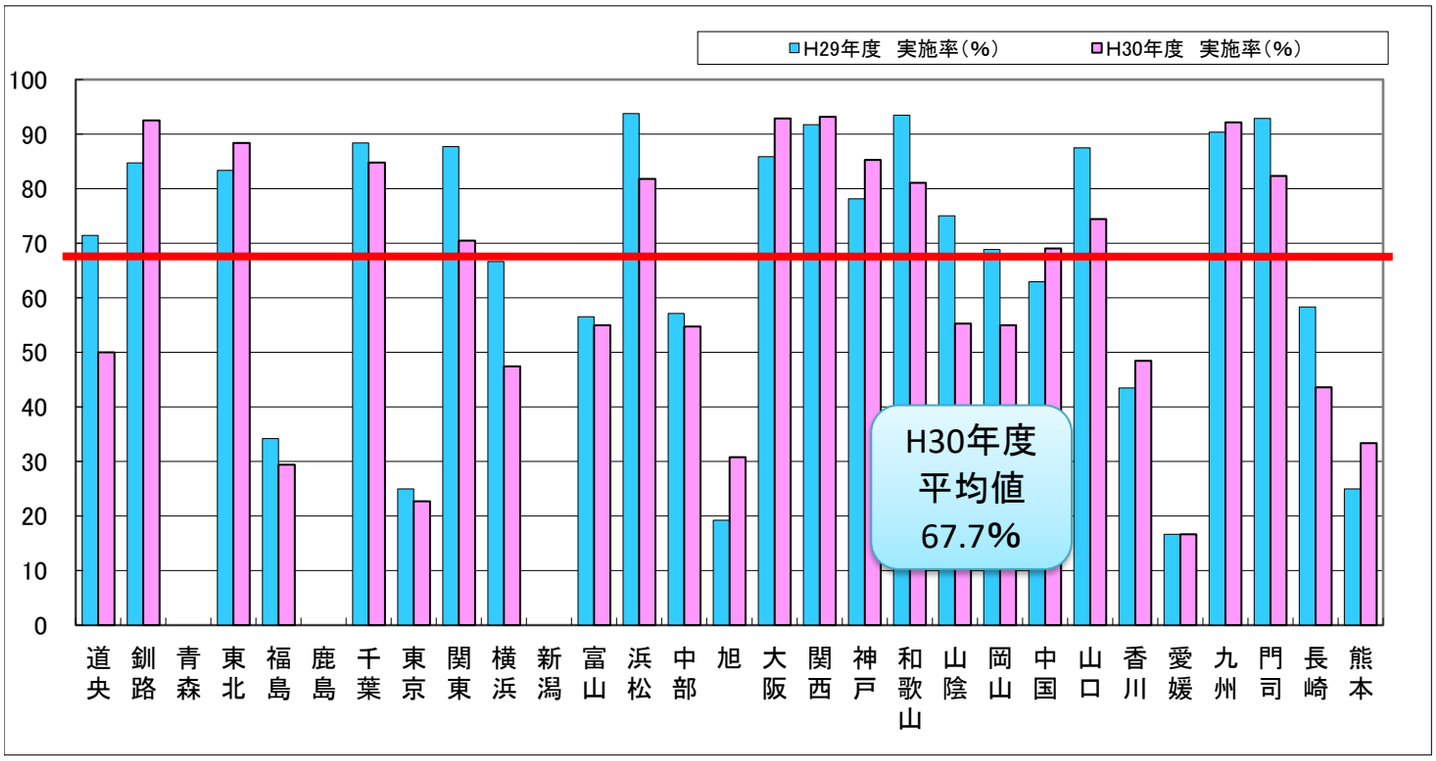
「大腸がん」を主病名として入院し、悪性腫瘍手術を実施した患者のうち腹腔鏡下での手術実施割合

指標の解説

ＤＰＣデータより抽出

腹腔鏡下手術の有用性としては、開腹手術と比較し、入院期間の短縮、腸管運動の早期回復、術後の疼痛軽減等が挙げられており、当該手術の実施率により患者の負担軽減、社会復帰への貢献度を評価する。

１２．大腸がん患者に対する腹腔鏡下手術の実施率



		H29年度			H30年度		
No	施設名	分母	分子	実施率（%）	分母	分子	実施率（%）
1	道央	7	5	71.4	16	8	50.0
2	釧路	59	50	84.7	80	74	92.5
3	青森	30	0	0.0	37	0	0.0
4	東北	60	50	83.3	43	38	88.4
5	福島	79	27	34.2	85	25	29.4
6	鹿島	1	0	0.0	0	0	－
7	千葉	86	76	88.4	92	78	84.8
8	東京	12	3	25.0	22	5	22.7
9	関東	57	50	87.7	44	31	70.5
10	横浜	51	34	66.7	59	28	47.5
11	新潟	0	0	－	0	0	－
12	富山	23	13	56.5	20	11	55.0
13	浜松	32	30	93.8	22	18	81.8
14	中部	42	24	57.1	42	23	54.8
15	旭	26	5	19.2	26	8	30.8
16	大阪	113	97	85.8	112	104	92.9
17	関西	133	122	91.7	147	137	93.2
18	神戸	32	25	78.1	34	29	85.3
19	和歌山	46	43	93.5	37	30	81.1
20	山陰	44	33	75.0	38	21	55.3
21	岡山	45	31	68.9	40	22	55.0
22	中国	54	34	63.0	42	29	69.0
23	山口	32	28	87.5	43	32	74.4
24	香川	69	30	43.5	64	31	48.4
25	愛媛	6	1	16.7	6	1	16.7
26	九州	52	47	90.4	51	47	92.2
27	門司	14	13	92.9	17	14	82.4
28	長崎	24	14	58.3	39	17	43.6
29	熊本	28	7	25.0	27	9	33.3
合計		1,257	892	71.0	1,285	870	67.7
平均	500床以上	76	63	82.9	75	60	80.0
	400床以上	46	29	63.0	48	33	68.8
	300床以上	43	29	67.4	45	28	62.2
	300床未満	12	3	25.0	15	4	26.7